

2023年7月28日

北海道旭川聾学校寄宿舎 発行



巻頭言

「子どもたちの安全を思う」

教頭 鎌田 隆仙

北海道旭川聾学校の保護者の皆様、本年度から、北海道旭川聾学校に教頭として赴任しました鎌田 隆仙（かまだ たかのり）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

巻頭言ということで、「子どもたちの安全を思う」と題しまして、2つの安全について書かせていただきます。

1 「心理的安全性」について

文部科学省の学習指導要領の中に「心理的安全性」という言葉が出てきます。「心理的安全性（psychological safety）」とは、組織の中で自分の考えや気持ちを誰に対してでも安心して発言できる状態であり、チームの他のメンバーが自分の発言を拒絶したり、罰したりしないと確信できる状態であると定義されています。

では、寄宿舎で生活する子どもたちの様子を見ると、笑顔で楽しそうな様子、自立して1人で準備する様子、指導員の先生にくっついていく様子など、まさに家庭であり「日常生活」だと感じました。私も3児の父ですが、生活力を高める教育や躰の難しさは、身をもって感じています。指導員の先生方は、教育や躰を行う「先生」でもあり、相談できる「兄弟姉妹」や「先輩」でもあり、そして安心できる居場所をつくる「保護者」でもあると思いました。子どもたちと指導員の先生方との信頼関係と温かい雰囲気は、まさに「心理的安全性」が守られている場所であり、これは本校寄宿舎の魅力でもあります。

2 「危険等発生時における幼児児童生徒の安全確保」について

先日の朝、Jアラートの警報が鳴り響きました。皆様もJアラートの警報がなかなか終わらず、戸惑ったことと思います。寄宿舎でも、Jアラート警報が、けたたましく鳴り響きました。滅多にあることではありませんし、今までミサイルの被害があったこともありませんが、指導員の先生方は、窓のない廊下に子どもたちを避難させるなど、戸惑うことなく適切に対応していました。当たり前と思うかもしれませんが、慌てることなく計画通りに行動することができたことは、日頃からの子どもの安全を確保するという意識の高さの賜物です。

また、ある日の夕方に、火事を想定した第1回避難訓練を実施しました。私は子どもたちの避難の様子を見ていましたが、静かに、身をかがめ、早歩きをして避難していました。素晴らしい避難行動であり、立派な態度でした。日々の寄宿舎での自立した生活が、規律ある集団行動につながっているのだと思いました。

今後も、子どもたちの安全を守るため、時間帯やシチュエーションを変え、状況に応じた避難行動ができるよう進めていきます。

「心」の安全と「身体」の安全。2つの安全について、書かせていただきました。他にも、寄宿舎では子どもたちの「安全」を守り、「安全」に生活するための配慮や取組を行っています。かけがえのない子どもたちの心身を守ることを第一に考え、子どもたちが日常生活を一喜一憂できるような寄宿舎生活に取り組んでいきたいと思っています。

6月誕生会

6月28日(水)にAさんの10歳の誕生会が行われました。今回の担当はBさんとCさんでした。Bさんが中心になり、何度も話し合いをして、担当を決めたり、ゲームの内容やルールを考えたり、進行の内容を考えたりと2人で協力をしながら進めました。

当日も2人で協力しながらホワイトボードを飾り付けて、食事の配膳をして、誕生会が始まりました。

Aさんの入場を拍手で迎え、ろうそくの火を消した後、「誕生会を行って来てありがとうございます。僕は10歳になりました。みんなと鬼ごっこをして遊びたいです。」と抱負を発表しました。その後、チャーハン、からあげ、サラダ、メロン、ケーキで会食をしました。

記念撮影の後はみんなが大好きなゲームの時間！今回は体育館で「鬼ごっこ」をしました。元気いっぱい体育館を逃げ回り、汗だくになって楽しんでいました。



お楽しみ会

6月1日(木)にお楽しみ会を食堂で行いました。開校記念日で学校が休みだったので、ゲームが開始されるまで子どもたちは待ちわびていました。

昼食が終わり少しゆっくりしたところで、みんな食堂に集まりゲームを開始しました。今回

は得点制で「イス取りゲーム、ストラックアウトゲーム、魚釣りゲーム、ギリギリアイスゲームをしました。

イス取りゲームでは音楽に手拍子を合わせながら進め、止まったら座るというルールで進めましたが、上級生は下級生を気遣って席を譲ってくれたり、下級生はなんとかイスに座ろうしたりと真剣でした。

少し盛り上がったところで次はストラックアウトゲーム。9つの板を9個のボールで何個倒すか総当たり戦で勝負しました。小学生は5m、中学生は7mで思うように板が倒れず悔しがる子どももいました。

次に魚釣りゲームを行いました。2人一組で数十匹いる魚をどちらが多く釣るのか？を競う内容でした。魚の動きが速かったり竿が思うように動かせなかったり、苦戦する様子が見られましたが、それぞれ魚をたくさん釣ることができていました。最後にギリギリアイスゲームを行いました。これまでのゲーム以上に運要素が強くなるゲームで、濡れたビー玉をティッシュの上に置き破いてしまったら負けというルールでした。みんなどこに置いたら破けないかと考えながらそろりそろりと置いていました。

全てのゲームが終わり、総合得点で優勝したのはBさんでメダルが授与されました。あっという間の2時間でしたが、楽しいひとときを過ごしました。

